

第24回全日本少年少女けん玉道選手権大会～関西代表選考会（関西ブロック大会）～
 — 競 技 説 明 —

1、競技方法

- (1) 男子の部、女子の部に分けて実施する。
- (2) 予選競技（予選会）と決勝競技（決勝トーナメント）を行う。

2、試合形式

(1) 予選競技（予選会）

① 1種目5回制10種目による得点競技（成功1回が1得点 / 50点満点）にて行う。

② 予選10種目

- ① とめけん、
- ② 飛行機、
- ③ ふりけん、
- ④ 世界一周、
- ⑤ けん先すべり
- ⑥ うぐいす、
- ⑦ うらふりけん、
- ⑧ つるしとめけん、
- ⑨ 宇宙一周、
- ⑩地球まわし

③ 予選競技の方法と順位

- ・ 試技は、主審の「始め」の発声の後、15秒以内に開始し、40秒以内に終了すること。これに違反した場合は失敗と判断する。
- ・ 予選競技の得点順に順位を決定する。
- ・ 同点が生じ場合は、各種目の1回目の合計得点の高い選手を上位とする。それでも同点の場合は、各種目2回目の合計得点の高い選手を上位とする。以下同様にして4回目までの得点を使い順位を決定する。以上の方法を用いても順位が決定しない場合は、9位以下は同順位とする。8位以内については予選の選技を順に1回ずつ試技を行い（サドンデス方式）、成否にて順位を決定する。

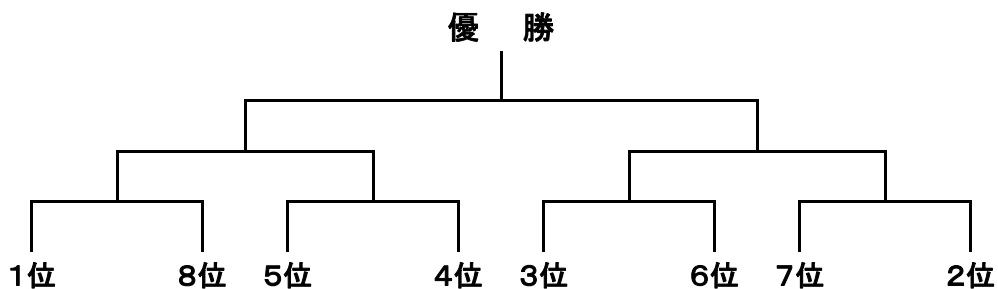
④ 決勝競技（決勝トーナメント）出場資格

- ・ 予選競技上位8位までの選手が出場できる。

(2) 決勝競技（決勝トーナメント）

① 対戦形式によるトーナメント戦にて行う。

- ・ 組み合わせは、予選の順位により下記のトーナメント表の通りの対戦とする。



- ・ トーナメントの左側から順に試合を行う。
- ・ トーナメントの左側の選手が先攻とする。
- ・ 3位決定戦は行わない。
- ・ 準決勝までは2本選手勝ち、決勝のみ3本選手勝ちとする。

② 決勝競技10選技

- ①うぐいす、
- ②うらふりけん、
- ③つるしとめけん、
- ④宇宙一周、
- ⑤地球まわし
- ⑥さか落とし、
- ⑦一回転灯台、
- ⑧一回転飛行機、
- ⑨ふりけん（もちかえて）はねけん
- ⑩灯台とんぼ返り

③ タイム競技 M

①前ふりろうそく、②とめけん、③はねけん、④地球まわし、⑤さか落とし

④ 決勝競技の方法と勝敗

- ・先攻の選手がくじにより選技し、先攻後攻の順に試技し合う。
 - ・試技は主審の「始め」の発声の後、15秒以内に開始し、40秒以内に終了すること。これに違反した場合は失敗と判断する。
 - ・一方の選手が成功し、もう一方の選手が失敗した場合、成功した選手に1得点(1本)が与えられる。
 - ・1選技は3回制とし、両選手3回ずつ試技しても勝敗がつかない場合は、その選技は引き分けとする。
 - ・1選技終了したら先攻後攻の順を交代し、先攻となった選手が新たに選技する。
 - ・1対1(決勝2対2)になった時点で「タイム競技M」を行い、勝敗を決する。
 - ・1試合において4選技(決勝は6選技)を限度とする。4選技(※決勝6選技)終了した時点で、得点(獲得した本数)の多い選手の勝ちとし、同点の場合は「タイム競技M」で勝敗を決する。
- ※決勝戦で5選技終えて2対0の場合は、6選技目において逆転の可能性がないので、その時点で得点(獲得した本数)の多い選手の勝ちとする。

⑤ 全国大会(第24回全日本少年少女けん玉道選手権大会)出場資格

- ・男子の部、女子の部とも優勝者には、第24回《文部科学大臣杯》全日本少年少女けん玉道選手権大会(8月26日東京・池袋サンシャインシティ)の出場権が認められます。

3、使用けん玉

(1) 使用が認められているけん玉

- 日本けん玉協会公認木製16型けん玉で以下の条件を満たす1本のみの使用を認める。
- ・けん玉の長さが15cm以上であること。
- ・玉の塗装は、協会が認定した塗装であること(木地及び金帯等のライン入は不可)。
- ・玉とけん玉の試技に影響する再塗装、修理、加工等が施されていないこと。
- ・玉の穴が原型を保持していると認められること。
- ・糸の種類、長さは問わない。
- ・試技の成否に影響すると判断されるワレ、カケ、キズ、玉の塗装のハガレ等がない

(2) 検査と判定

- ・競技開始前に、審判員による使用希望のけん玉の検査を行う。そこで使用可否を判断、決定する。
- ・競技中に使用けん玉の分解等の支障をきたした時は、速やかに審判員に申し出、審判員が許可した場合のみ修理または交換することができる。ただし、その場合においても改めて検査(再検査)を受けなければならない。
- ・再検査による合格は、特に止むを得ない場合を除き、1回限りとする。

4、その他

- ・参加者の負傷については日本けん玉協会関西総支部においては一切責任は負えません。
- ・競技中の私語、携帯音、カメラのフラッシュ撮影は一切禁止されています。